

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 4 月 22 日(2022.4.22)

【公開番号】特開 2020-116065(P2020-116065A)

【公開日】令和 2 年 8 月 6 日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-031

【出願番号】特願 2019-8933(P2019-8933)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 14 日(2022.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利事象に制御可能な遊技機であって、  
遊技者の所定動作を検出可能な動作検出手段と、  
所定の有効期間において前記所定動作が前記動作検出手段により検出されたことにもとづいて特定演出を複数の異なる態様にて実行可能な特定演出実行手段と、  
を備え、

前記有効期間は、第 1 有効期間と第 2 有効期間と第 3 有効期間とを含み、

前記特定演出実行手段は、

前記第 1 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する第 1 情報を報知する第 1 態様の特定演出を実行可能であり、

30

前記第 2 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する情報であって前記第 1 情報とは異なる第 2 情報を報知する第 2 態様の特定演出を実行可能であり、

前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する情報であって前記第 1 情報及び前記第 2 情報とは異なる第 3 情報を報知する第 3 態様の特定演出を実行可能であり、

前記第 1 有効期間において前記第 1 態様の特定演出を実行する場合に、前記第 2 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 2 態様の特定演出を実行可能であり、

40

前記第 1 有効期間において前記第 1 態様の特定演出を実行しない場合に、前記第 2 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出とを実行可能であり、

前記第 1 有効期間及び前記第 2 有効期間において前記第 1 態様の特定演出及び前記第 2 態様の特定演出を実行する場合に、前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 3 態様の特定演出を実行可能であり、

前記第 1 有効期間において前記第 1 態様の特定演出を実行するとともに前記第 2 有効期間において前記第 2 態様の特定演出を実行しない場合に、前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 2 態様の特定演出と前記第 3 態様の特定演出とを実行可能であり、

50

前記第 1 有効期間及び前記第 2 有効期間において前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出とを実行しない場合に、前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出と前記第 3 態様の特定演出とを実行可能であり、

前記第 1 有効期間と前記第 2 有効期間との間には第 1 無効期間が設けられ、前記第 2 有効期間と前記第 3 有効期間との間には第 2 無効期間が設けられている、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段 A の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利事象に制御可能な遊技機であって、

遊技者の所定動作を検出可能な動作検出手段と、

所定の有効期間において前記所定動作が前記動作検出手段により検出されたことにもとづいて特定演出を複数の異なる態様にて実行可能な特定演出実行手段と、

を備え、

前記有効期間は、第 1 有効期間と第 2 有効期間と第 3 有効期間とを含み、

20

前記特定演出実行手段は、

前記第 1 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する第 1 情報を報知する第 1 態様の特定演出を実行可能であり、

前記第 2 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する情報であって前記第 1 情報とは異なる第 2 情報を報知する第 2 態様の特定演出を実行可能であり、

前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する情報であって前記第 1 情報及び前記第 2 情報とは異なる第 3 情報を報知する第 3 態様の特定演出を実行可能であり、

前記第 1 有効期間において前記第 1 態様の特定演出を実行する場合に、前記第 2 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 2 態様の特定演出を実行可能であり、

30

前記第 1 有効期間において前記第 1 態様の特定演出を実行しない場合に、前記第 2 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出とを実行可能であり、

前記第 1 有効期間及び前記第 2 有効期間において前記第 1 態様の特定演出及び前記第 2 態様の特定演出を実行する場合に、前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 3 態様の特定演出を実行可能であり、

前記第 1 有効期間において前記第 1 態様の特定演出を実行するとともに前記第 2 有効期間において前記第 2 態様の特定演出を実行しない場合に、前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 2 態様の特定演出と前記第 3 態様の特定演出とを実行可能であり、

40

前記第 1 有効期間及び前記第 2 有効期間において前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出とを実行しない場合に、前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出と前記第 3 態様の特定演出とを実行可能であり、

前記第 1 有効期間と前記第 2 有効期間との間には第 1 無効期間が設けられ、前記第 2 有効期間と前記第 3 有効期間との間には第 2 無効期間が設けられている、

ことを特徴とする。

さらに、手段 1 の遊技機は、

50

遊技者にとって有利な有利事象（例えば、大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、

遊技者の所定動作（例えば、プッシュボタン３１Ｂの操作）を検出可能な動作検出手段（例えば、プッシュセンサ３５Ｂ、演出制御用ＣＰＵ１２０）と、

所定の有効期間において前記所定動作が前記動作検出手段により検出されたことにもとづいて特定演出を複数の異なる態様（図８－２０参照）にて実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が可変表示中演出処理におけるＳ２４３ＳＧＳ３１０Ｂにおいて第１隠しボタン演出処理を実行する部分や、Ｓ２４３ＳＧＳ３１０Ｄにおいて第２隠しボタン演出処理を実行する部分／変形例１～４）と、

を備え、

10

前記有効期間は、第１有効期間（例えば、第１操作有効期間）と第２有効期間（例えば、第２操作有効期間）と第３有効期間（例えば、第３操作有効期間）とを含み、

前記特定演出実行手段は、

前記第１有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する第１情報（例えば、大当りであること）を報知する第１態様の特定演出（例えば、第１報知）を実行可能であり（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、第１隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ４１４～２４３ＳＧＳ４１８の処理を実行する部分や、第２隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ５１４～２４３ＳＧＳ５１８の処理を実行する部分）、

前記第２有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する情報であって前記第１情報とは異なる第２情報（例えば、確率変動大当りであること）を報知する第２態様の特定演出（例えば、第２報知）を実行可能であり（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、第１隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ４３１～２４３ＳＧＳ４３６の処理を実行する部分や、第２隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ５３１～２４３ＳＧＳ５３６の処理を実行する部分）、

20

前記第３有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記有利事象に関する情報であって前記第１情報及び前記第２情報とは異なる第３情報（例えば、ラウンド数が最大であること）を報知する第３態様の特定演出（例えば、第３報知）を実行可能であり（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、第１隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ４５１～２４３ＳＧＳ４５６の処理を実行する部分や、第２隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ５５１～２４３ＳＧＳ５５６の処理を実行する部分）、

30

前記第１有効期間において前記第１態様の特定演出を実行する場合に、前記第２有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第２態様の特定演出を実行可能であり（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、第２隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ５３５でＹｅｓの場合、２４３ＳＧＳ５３６で第２報知を実行する部分）、

前記第１有効期間において前記第１態様の特定演出を実行しない場合に、前記第２有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第１態様の特定演出と前記第２態様の特定演出とを実行可能であり（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、第２隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ５３５でＮｏの場合、２４３ＳＧＳ５３８で第１報知と第２報知を実行する部分）、

40

前記第１有効期間及び前記第２有効期間において前記第１態様の特定演出及び前記第２態様の特定演出を実行する場合に、前記第３有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第３態様の特定演出を実行可能であり（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、第２隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ５５５でＹｅｓの場合、２４３ＳＧＳ５５６で第３報知を実行する部分）、

前記第１有効期間において前記第１態様の特定演出を実行するとともに前記第２有効期間において前記第２態様の特定演出を実行しない場合に、前記第３有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第２態様の特定演出と前記第３態様の特定演出とを実行可能であり（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、第２隠しボタン演出処理における２４３ＳＧＳ５５５、２４３ＳＧＳ５５７でＮｏの場合、２４３ＳＧＳ５５８で第２

50

報知と第 3 報知を実行する部分)、

前記第 1 有効期間及び前記第 2 有効期間において前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出とを実行しない場合に、前記第 3 有効期間において前記動作検出手段による検出にもとづいて、前記第 1 態様の特定演出と前記第 2 態様の特定演出と前記第 3 態様の特定演出とを実行可能である(例えば、演出制御用 CPU 120 が、第 2 隠しボタン演出処理における 243SGS555、243SGS557 で No の場合、243SGS559 で第 1 報知と第 2 報知と第 3 報知を実行する部分。図 8 - 17 (B) (C) 参照)

ことを特徴としている。

この特徴によれば、第 1 態様の特定演出や第 2 態様の特定演出が実行されなかった場合でも、その後の有効期間において前の有効期間に対応する態様の特定演出が実行されることがあるため、特定演出の興趣を高めることができる。

10

20

30

40

50